

道の駅もがみ(愛称:あつえ) 最上小国川沿いに昨年11月にオープン!!



道の駅もがみは、高速自動車国道である「東北自動車道」と自動車専用道路である「東北中央自動車道」を結ぶ一般国道47号と最上小国川沿いの瀬見温泉近くに令和5年11月26日にオープンしました。道路管理施設には交通情報コーナーや休憩所・トイレ、地域振興施設には観光案内所や軽食コーナーがあります。

また、隣接している立ち寄り施設「ヤナ茶屋もがみ」では、食事や町の特産品・農産品をお求めいただけます。

皆さん是非お立ち寄りください。

〔最上町商工観光課：0233-43-2262〕



最上町特産のアスパラガスと最上牛を使用したアスパラコロッケが好評です。

第40回 ふながた若鮎まつり

9月9日(土)及び10日(日)、第40回の節目となる「ふながた若鮎まつり」がアユパーク舟形で開催されました。新型コロナウイルス感染症が蔓延した影響により、過去3年間はやむなく開催中止または規模を縮小してきましたが、今年は4年ぶりにステージイベントを復活するなど、コロナ禍前の通常規模で開催されたものです。

当日は天候にも恵まれ、2日間で約22,000人が来場し、ゲスト(9日:工藤あやのさん、10日:神野美伽さん)による歌謡ショーや舟形町芸術文化協会の発表などを楽しみながら、まつりのために準備された約20,000尾の鮎の塩焼きや鮎ご飯を始めとする秋の味覚を存分に堪能していたようでした。

また、子どもエリアではもがみ南部商工会青年部による「子ども鮎つかみどり体験」が開催され、多くの子どもたちが歓声を上げて鮎を追いかけしていました。

町が誇る様々な魅力が集結した「ふながた若鮎まつり」。令和6年度は9月7日(土)、8日(日)に開催予定です。

〔ふながた若鮎まつり実行委員会：0233-32-0844
(事務局：舟形町まちづくり課交流促進係)〕



【お問い合わせ先】

最上小国川清流未来振興機構事務局(最上総合支庁総務課連携支援室内): 0233-29-1238
※ 機構のInstagram・ホームページで、構成団体の取り組みや流域のイベント等を紹介していますので、ぜひご覧ください。



【Instagram】ぜひ「いいね!」をお願いします!

https://www.instagram.com/seiryu_mogamiogunigawa/

【ホームページ】

<http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>



★ホームページ

最上小国川清流未来ニュース

令和6年3月20日 発行
最上小国川清流未来振興機構

第31号

第8回最上小国川写真コンテスト入賞作品決定!

最上小国川清流未来振興機構では、最上小国川の大切さの再認識、未来に伝える機運の醸成のため、第8回最上小国川写真コンテストを開催しました。

「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに、最上小国川の魅力を撮影した写真を募集し、県内外の33名の方より計85点の応募がありました。今回は、審査で選ばれた入賞作品13点の中から最優秀賞、優秀賞の作品、4点をご紹介します。また、この作品を活用し、地域内外の多くの皆様に最上小国川の魅力をお伝えしたいと考え、入賞作品を掲載した「最上小国川カレンダー2024」を作成し先着200名の方へ配布しておりますので、ご希望の方は事務局へお問合せ下さい。

▼最優秀賞(1点)



作品名 幻想の光跡
撮影場所 最上町白川堰提下流
受賞者 太田 稔さん(最上町)

【審査委員講評】

静かに流れる最上小国川を奥行き感のある構図で捉えている。茜色が残る空と暮色の中を飛び交うホタルの光跡を撮り入れた、清流・最上小国川の美しさと自然豊かな光景が伝わる作品となっている。

▼優秀賞(3点)



作品名 静と動
撮影場所 舟形町
受賞者 井上 孝男さん(新庄市)



作品名 小国川のモンスター-80cm 6キロ

撮影場所 舟形町
受賞者 佐藤 康光さん(宮城県利府町)



作品名 小国川冬紀行
撮影場所 最上町
受賞者 千葉 学さん(宮城県大崎市)



最上小国川流域の振興に向けた取り組み

下の図は、平成27年4月に策定した「最上小国川清流未来振興計画」です。この計画に基づいて、現在、様々な取り組みが進んでいます。
最上小国川清流未来ニュースでは、こうした取り組みの動きについて、毎号、ご紹介していきます。今回は、その中から2つの取り組みについてご紹介します。

次ページで紹介

おもてなしの 心で癒す

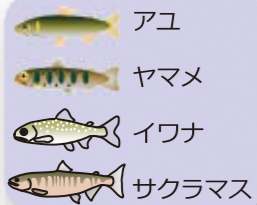
目標：地域の観光
者数150万人を
目指す。

- 1 物販及び情報発信施設新設の検討
- 2 流水型ダム周辺整備
- 3 月橋橋・満沢橋付近での駐車場と進入路の整備
- 4 遊歩道の整備
- 5 共同浴場とふかし湯の整備
- 6 歴史的な赤倉温泉街の継承・発展
- 7 温泉地等の魅力向上の推進
- 8 「川の駅」でのイベント開催
- 9 親水空間創出の推進（向町）
- 10 親水空間創出の推進（舟形）
- 11 親水空間創出の推進（瀬見）
- 川床の茶屋設置方策の検討
- イベントの連携検討



道の駅もがみ（あつつえ）

※アユは最上小国川全川で放流



舟形若あゆ温泉

凡例

- 印：地域の将来像を実現するための施策
- 印・番号なし：全域、全川が対象の施策
- 印：複数箇所で実施する施策の代表箇所

清流を守り・ 育て・活かす

目標：アユの放流量と漁獲量50%増を目指す。

- アユ等の放流
- 1 アユ放流事業への支援
- 2 水源井戸の整備
- 3 アユ中間育成とサケのふ化場の併用施設整備
- 4 サケふ化施設の遊休期間を活用したアユ種苗生産の増大
- 5 中間育成技術の継承と人材確保・育成
- 6 環境モニタリング
- 7 魚道改修・修繕の検討・実施（一部完成）
- 8 河川工事における環境対策
- 9 計画的な保安林の指定
- 10 水辺林、溪畔林の整備
- 11 合併浄化槽の整備
- 農業等の低減
- 間伐材の搬出・主伐後の再造林
- 河道・森林整備の促進
- アユの生息に配慮した河道整備



小学生のサクラマス放流体験



「おくのほそ道」
赤倉ゆけむり館

地元ブランドで活性化する

目標：雇用の確保につながるブランド品の創出3品目を目指す。

- 6次産業化の推進（アユ加工品等の開発支援）
- 地域ブランド商品の開発
- 木質バイオマスの利活用の推進

先人から引き継ぎ、未来に伝える 清流文化 最上小国川

川を知り 川に親しむ

目標：中学生以下の最上小国川のイベント参加者数年間8,000人を
目指す。

- 1 アユ釣り大会の開催
- 2 川魚のつかみ取り大会や放流事業の開催
- 3 イワナ、サクラマス等の産卵場造成
- 4 遊漁券の販売促進
- 5 **ふながた若鮎祭りにおけるアユ利用促進**
- 6 釣り場のアクセス改善
- 7 最上小国川鮎釣り甲子園大会の開催
- イベントの連携協定

次ページで紹介

治水や治山で 自然と共存する

目標：50年に1度の洪水を安全に流せるようにする。

- 1 最上小国川流水型ダム整備
- 2 河川整備（長沢・舟形地内）
- 3 河川整備（大堀地内）
- 4 赤倉地区内水対策
- 5 河川情報の提供（ライブカメラ設置）
- 6 河川環境の創出（赤倉地区）
- 河川の効果的な維持管理
- 防災意識向上の推進
- 水位等の河川情報の提供
- 大雪対策の推進
- 河床低下防止と河川施設の保護



アユ中間施設育成とサケふ化場の
併用施設（舟形町舟形）



最上小国川流水型ダム
（令和2年4月運用開始）

